

業界の

声

●銀座通り商店街協同組合

理事長 長坂 善雄氏

業界(商店街)の現況は？

近年、ショッピングセンター(SC)の郊外出店により、商店街の経営は厳しさを増しています。数字的には、甲府市民の約50%が郊外出店のSCへ行っていると言われています。

また、原油高騰も経営を苦しめています。しかし、商店街ではこれを『好機』と捉え、自動車でSCに行くのではなく、『歩いて通える商店街』へ来て頂くこと、各店舗とも自助努力に励んでいます。

そんな中、毎年恒例の『七夕まつり』『えびす講まつり』では、経費を抑えた手作りのイベントを開催しています。これには、各店舗に多大なご協力を頂いており、特に嬉しいことは各組合員の後継者が、積極的に組合事業へ協力をしてくれることです。また、古くから商店街を盛り上げてきた老舗店も元気に頑張っており、商店街の活性化に非常に協力してくれます。

今後の展開は？

今後の商店街は、『観光との結びつき』が大事だと考えています。例えば、商店街全体がワイン、ジュエリー等の地場産業が混在する一つの集積地になる、ということです。また、商店街の中に核となる店舗をつくり、お客様に商店街を回遊して頂けるような商店街づくりをしていくことも大事になってくると思います。

そんな中、本組合で現在力を入れようとしているのが、『ハローキティ(通称：キティちゃん)』です。なぜ『キティちゃん』なのかというと、『キティちゃん』の生みの親である(株)サンリオの代表取締役社長の辻信太郎氏が甲府の商店街近隣の出身であるからです。今後は『キティちゃん』のコラボレーションにより、甲府の商店街を発展させていきたいと考えています。



キティちゃんと武田信玄が
コラボレーション！